

2024年10月15日

各 位

会社名 S A N E I 株式会社
代表者名 代表取締役社長 西岡利明
(コード番号: 6230 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役執行役員コーポレート本部長 新田 裕二
TEL. 06-6972-5955

剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、2024年10月15日開催の取締役会において、下記のとおり2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年9月17日公表)	前期実績 (2024年3月期中間)
基準日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	60円00銭 (普通配当55円00銭) (記念配当5円00銭)	60円00銭 (普通配当55円00銭) (記念配当5円00銭)	49円00銭
配当金の総額	135,046千円(注2)	—	112,157千円(注3)
効力発生日	2024年12月2日	—	2023年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注1) 当社は、2018年6月25日に開催いたしました第58回定時株主総会において、剰余金の配当を取締役会決議で行える旨の定款変更を行っております。

(注2) 配当金の総額は、1株当たり配当金に、2024年9月30日現在の発行済株式総数(2,289,000株)から自己株式数(76株)を控除した株式数(2,288,924株)を乗じた金額です。

(注3) 配当金の総額は、1株当たり配当金に、2023年9月30日現在の発行済株式総数(2,289,000株)から自己株式数(76株)を控除した株式数(2,288,924株)を乗じた金額です。

2. 理由

当社は、資本コストや株価を意識した経営を強化し、株主価値の最大化に努めています。その中で、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけ、業績や将来の資金需要などを総合的に考慮しつつ、年2回の累進配当を実施することを基本方針としております。

また、当社は2024年9月に創業70周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、上記の基本方針に加え、株主の皆様のご支援に感謝の意を表すとともに、2025年3月期の中間配当につきましては、1株あたり60円00銭（普通配当55円00銭、創業70周年記念配当5円00銭）の配当を実施いたします。

（参考）累進配当の実績：株式分割後（効力発生日2024年10月1日）を基準に換算（注1）

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想（2025年3月期）	30円00銭 （普通配当27円50銭） （記念配当2円50銭）	30円00銭	60円00銭
当期実績（2025年3月期）	30円00銭 （普通配当27円50銭） （記念配当2円50銭）		
前期実績（2024年3月期）	24円50銭	29円50銭 （普通配当24円50銭） （記念配当5円00銭）	54円00銭
2023年3月期	24円00銭	24円00銭	48円00銭
2022年3月期	22円50銭	23円50銭 （普通配当22円50銭） （記念配当1円00銭）	46円00銭
2021年3月期	15円00銭	22円50銭 （普通配当15円00銭） （記念配当7円50銭）	37円50銭
2020年3月期	7円50銭	15円00銭	22円50銭
2019年3月期	7円50銭	7円50銭	15円00銭
2018年3月期	5円00銭	7円50銭	12円50銭
2017年3月期	2円50銭	5円00銭	7円50銭

（注1） 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。表中の1株当たり配当金の額は、当該株式分割が2017年3月期の期首に行われたと仮定して算出しております。

（注2） 記念配当の内容は次の通りとなります。

2025年3月期 中間配当：創業70周年記念配当

2024年3月期 期末配当：創業70周年記念配当

2022年3月期 期末配当：株式上場1周年の記念配当

2021年3月期 期末配当：東証二部市場上場記念配当

以上